

事業開始時の写真

ラオス人民民主共和国「ジェンダー平等促進による中等教育環境改善事業(第2年次)」
公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン



対象校の様子。学生寮に入れない生徒は、学校敷地内に小屋を建てる。竹を使って親たちが協力して建てる。



親たちによって作られた簡易の竹小屋は、多少の雨風はしのげるが、強風や大雨には耐えられない。



ひとつの小屋を生徒3-4人で使う。毎週末、数時間かけて家に帰り、主食である米をもって月曜朝に学校に戻る。



食事は竹小屋のなかで、火を起こして自分たちで料理する。狭い小屋の中で火を使うため煙が立ち込める。鍵もかからず安全とは言えない環境。